

「プログラミング的思考」を育成するための授業案

教科	音楽	日時	
単元名	音のスケッチ		
本時のねらい (教科)	太鼓のリズムやその組み合わせに興味・関心をもち、拍にのってリズムづくりに進んで取り組むことができる。		
「プログラミング的思考」 育成のためのポイント	作りたい祭りの音楽をイメージしながら、奏でてみようを使い、リズムのプログラムを試行錯誤することでプログラミング的思考の育成を図る。		
時間	学 習 活 動	○指導のアイデアや支援 ・指導の留意点等	
10	1. 祭りのイメージを膨らませる。 おまつりの音がくをつくろう！ ～リズムづくりへん～	<ul style="list-style-type: none"> ・雰囲気異なる祭りの音楽をいくつか聞かせる。 ○聞いた後に、どのようなイメージをもったか発表させることで、グループでのテーマを見つけやすくする。 ・これからの学習の見通しをもたせた後、4～5人のグループで、自分たちはどのような祭りのリズムを作るかテーマを考える。 	
25	2. ペアで4小節のリズムを作る。 3. ペア同士でリズムを組み合わせる。	<ul style="list-style-type: none"> ・グループを2つに分けペアを作り、様々なリズムを当てはめながら4小節分のリズムを考えられるようにする。 ・2つに分かれたグループを再度集合させて、お互いの作成した4小節を組み合わせる8小節分のリズムを完成させられるようにする。 ○初めから考え直すのではなく、お互いが作ったリズムをどちらが前後にするかを考えたり、話し合いながら一部を修正したりして、祭りのリズムを完成できるようにする。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>[評価規準]</p> <p>太鼓のリズムやその組み合わせに興味・関心をもち、拍にのってリズムづくりに進んで取り組むことができる。(活動の様子観察)</p> <p>◇Cの児童に対する指導の手立て</p> <p>児童それぞれが「もっとこうの方がいいと思う」というアイデアを順番に奏でてみようを使って実践するように促し、児</p> </div>	
10	4. 作ったリズムを発表する。 5. 本時のふり返りと次々の予告。	<ul style="list-style-type: none"> ・6グループを順番に発表させる。 ・発表するときには、自分たちの考えたイメージを伝えてから行うようにさせる。 ○順番待ちのグループは、どんなリズムを組み合わせているのかに注意しながら発表を聞くようにさせ、発表終了後、そのグループのリズムのよかったところを発表させる。 ・本時の活動の感想を発表せる。 ○試行錯誤しながら、様々な組み合わせを考えることの楽しさに気付かせるようにする。 ・次回は掛け声のプログラムを考えることを伝えると共に、掛け声の種類をいくつか紹介する。 	

